

# とうがね市議会

## だより

第149号 平成23年11月1日  
発行 東金市議会  
編集 議会編集委員会  
東金市東岩崎1-1  
TEL 0475 (50) 1181

### 目次

議案の概要・請願陳情 1~2P  
常任委員会の質疑  
・表決結果一覧 ..... 3P  
一般質問の概要  
・通告一覧 ..... 4~6P



**今年の市民体育祭**  
みなさん地区の代表として  
いい汗流しました(東金アリーナ陸上競技場)

チーバ君も登場!

### 平成23年第3回 東金市議会定例会

# 東金市看護師養成修学資金 貸付条例など17議案を 可決・同意

平成23年第3回東金市議会定例会は、9月5日から9月22日までの18日間の会期で開かれました。本定例会では、市長提出の24議案と追加議案4件のうち、17議案が可決・同意され、平成22年度各会計決算認定11議案については特別委員会を設置し付託され、閉会中の継続審査となりました。

また、議員提出の発議案1件は可決され、陳情3件のうち1件が継続審査、2件が不採択となりました。

一般質問では、各会派から代表質問を4名、関連質問を9名、個人質問を6名が行い、市政全般についての議論が行われ、この内13名が今定例会から導入された一問一答方式での質問を行いました。

## 議案の概要

### 新しい条例

東金市看護師養成修学資金貸付条例

【第1号議案】東金九十九里地域医療センターに勤務を予定する市内看護学校等の学生に対し、修学資金を貸し付けることにより修学を容易にし、看護師の育成と定着を図るため、「東金市看護師養成修学資金貸付条例」

の制定について、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・賛成多数)

東金市児童クラブ設置管理条例

【第2号議案】平成12年度から行っている児童クラブを地方自治法に基づき公の施設とするため本条例の制定について議会の議決を求めるもので、延長保育の創設と8月期に

### 改正する条例

市税条例等の一部を改正する条例



児童クラブの一コマ

新たな利用料の形態を導入するもの。  
(原案可決・賛成多数)

「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律」により、地方税法等が改正されたことに伴い、関係規定について所要の改正を図るため、「市税条例等の一部を改正する条例」の制定について、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・賛成多数)

【第3号議案】

東金市都市計画税条例の一部を改正する条例

【第4号議案】  
「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律」により、地方税法が改正されたことに伴い、関係規定について所要の改正を図るため、「東金市都市計画税条例の一部を改正する条例」の制定について、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・賛成多数)

平成22年度東金市一般会計決算の認定  
【第7号議案】  
歳入総額が191億8,346万1千円となり、歳出総額が183億7,176万2千円となった平成22年度東金市一般会計決算について議会の認定を求めるもの。  
(継続審査)

平成22年度東金市介護保険事業特別会計決算の認定  
【第11号議案】  
歳入総額が29億9,270万9千円となり、歳出総額が29億9,170万5千円となった平成22年度東金市介護保険事業特別会計決算について議会の認定を求めるもの。  
(継続審査)

平成22年度東金市山武郡市予防接種健康被害調査特別会計決算の認定  
【第15号議案】  
歳入総額が14万2千円、歳出総額が0円となった平成22年度山武郡市予防接種健康被害調査特別会計決算について議会の認定を求めるもの。  
(継続審査)

平成23年度東金市一般会計補正予算(第3号)  
【第18号議案】  
既定の予算額170億5,100万円に歳入歳出それぞれ1億3,410万6千円を追加し、予算の総額を171億8,510万6千円とすることについて、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・賛成多数)

平成23年度東金市介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)  
【第20号議案】  
既定の予算額31億4,600万円に歳入歳出それぞれ474万1千円を追加し、予算の総額を31億5,074万1千円とすることについて、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・賛成多数)

平成23年度東金市ガス事業会計補正予算(第1号)  
【第24号議案】  
ガス料金の検針・集金業務委託料について、期間を平成24年度から平成26年度まで、限度額を1億4,578万2千円とする債務負担行為を設定することについて、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・賛成多数)

教育委員会の委員の任命  
【第26号議案】  
教育委員会の委員である飯田秀一氏を引き続き当該委員として任命しようとするもの。  
(原案同意)

子ども・子育て新システム導入に反対する意見書を国に提出することを求める陳情  
【陳情第22号】  
(不採択)

東金市特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
【第5号議案】  
「スポーツ振興法」が全部改正されて「スポーツ基本法」として施行され、体育指導委員に代わりスポーツ推進委員が置かれたことに伴い、非常勤職員の報酬を定める規定について所要の改正を図るため、「東金市特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」の制定について、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・全員賛成)

平成22年度東金市老人保健特別会計決算の認定  
【第9号議案】  
歳入総額が1,398万6千円となり、歳出総額が1,398万6千円となった平成22年度東金市老人保健特別会計決算について議会の認定を求めるもの。  
(継続審査)

平成22年度東金市下水道事業特別会計決算の認定  
【第12号議案】  
歳入総額が18億7,049万2千円となり、歳出総額が18億5,868万4千円となった平成22年度東金市下水道事業特別会計決算について議会の認定を求めるもの。  
(継続審査)

平成22年度東金市ガス事業会計決算の認定  
【第16号議案】  
収益的収支の収入11億5,550万7千円、支出10億309万円、資本的収支の収入1,188万6千円、支出1億9,408万1千円となった平成22年度東金市ガス事業会計決算について議会の認定を求めるもの。  
(継続審査)

平成23年度東金市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
【第19号議案】  
既定の予算額4億1,079万3千円に歳入歳出それぞれ74万6千円を追加し、予算の総額を4億1,153万9千円とすることについて、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・賛成多数)

平成23年度東金市下水道事業特別会計補正予算(第2号)  
【第22号議案】  
既定の予算額15億6,566万8千円に歳入歳出それぞれ890万円を追加し、予算の総額を15億7,456万8千円とすることについて、議会の議決を求めるもの。  
(原案可決・賛成多数)

東金市外三市町清掃組合と東金市との災害による一般廃棄物処理事務の委託に関する規約の制定に関する協議  
【第6号議案】  
東金市外三市町清掃組合が、東日本大地震により発生した東金市内の一般廃棄物の処理を東金市に委託するため、「東金市外三市町清掃組合と東金市との災害による一般廃棄物処理事務の委託に関する規約」の制定に関する協議を要請するもの。  
(原案同意)

教育委員会の委員の任命  
【第27号議案】  
教育委員会の委員である村井文彦氏が退職されるため、小高きみ江氏を新たに当該委員として任命しようとするもの。  
(原案同意)

公設公営保育所への特定財源の復活に反対する意見書を国に提出することを求める陳情  
【陳情第23号】  
(継続審査)

## 決算の認定

平成22年度東金市後期高齢者医療特別会計決算の認定  
【第10号議案】  
歳入総額が4億3,611万3千円となり、歳出総額が3億9,611万3千円となり、

平成22年度東金市農業集落排水事業特別会計決算の認定  
【第13号議案】  
歳入総額が2億6,224万4千円となり、歳出総額が2億5,518万5千円となった平成22年度東金市農業集落排水事業特別会計決算について議会の認定を求めるもの。  
(継続審査)

平成22年度東金市ガス事業剰余金の処分  
【第17号議案】

平成23年度東金市一般会計補正予算(第3号)  
【第18号議案】

平成23年度東金市介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)  
【第20号議案】

平成23年度東金市ガス事業会計補正予算(第1号)  
【第24号議案】

教育委員会の委員の任命  
【第26号議案】

子ども・子育て新システム導入に反対する意見書を国に提出することを求める陳情  
【陳情第22号】  
(不採択)

## 補正予算

【第18号議案】

【第20号議案】

【第24号議案】

【第26号議案】



太陽光発電の補助制度を予算化

## その他

【第6号議案】

【第27号議案】

## 人事に関する議案

【第25号議案】

## 発議案

【発議案第1号】

## 請願・陳情

【陳情第22号】

※お知らせ  
公職選挙法では、議員等は「選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、寄附をしてはならない。」とされていることから、東金市議会では、虚礼廃止を徹底すべく申し合わせています。

◆各常任委員会での主な質疑の概要

<総務常任委員会> 9月14日開催

※第1号議案 東金市看護師養成修学資金貸付条例の制定について
問 第一条の規定は城西国際大学だけが対象で、千葉県中の学校や養成所も対象にできないのか。
答 現行では城西国際大学だけが対象であるが、東金市内にほかの学校ができればそれも対象にする。また、地方独立行政法人のほうで全国の看護学校を対象に募集をしている。
問 修学資金はなぜ百万円にしたのか。また、東金市での募集をなぜ15人にしたのか。
答 近隣の医療機関では百万円と決定しており、城西国際大学ではそれが相場となっているので、東金市もそれに合わせた。また、日本看護協会のデータなどによると、毎年12%程度が退職するという数値が出ていることから、その分の補充として東金市15人と地方独立行政法人15人の合計30人分については奨学金を設けて確保することとした。

※第18号議案 平成23年度東金市一般会計補正予算(第3号)について
問 農業用施設災害復旧費補助金の補助率とその理由は。

答 市からの補助率は2分の1である。農業施設への国・県の補助率は3分の2であり、市もそれに合わせた補助で対応することを考えたが、市単独で補助するものについては2分の1程度のものが多いことから、現在の財政状況を見て補助率を2分の1で決定した。
問 東金中学校の建て替えについて、一次・二次の耐震診断を実施したうえで決定をしていくということだが、二次診断で建て替えをしなくても大丈夫という規定値が出た場合には国や県から補助金が得られない状況になると思うが、それでも市は独自で建て替えに向けていくのか。
答 東金中学校については、第三期基本計画の中で平成26・27年度に基本設計、実施設計をすると位置づけているが、東日本大震災が発生し、学校教育問題検討懇談会から上がってきた話を受けて、市長部局では前倒しを前提に建て替え・耐震を検討することになった。補助の関係から、二次診断を実施していないと補助対象にならないということなので、前倒しを前提にして二次診断の補正をお願いした。仮にこれを実施してIs値が規定値を超えた場合には耐震改修、いわゆる補強工事をするのが原則であり、建て替えを行うとしても補助は得られないが、今回の診断結果を見て協議、検討したい。

<文教厚生常任委員会> 9月15日開催

※第2号議案 東金市学童クラブ設置管理条例の制定について
問 第八条第四号で、正当な理由なく利用料を滞納したときとあるが、正当な理由とはどういった判断か。
答 災害や事故、雇用者側の都合による失職、または疾病など本人の責に帰することが出来ない理由等により一時的に支払いが出来ない状態になった場合を想定している。
問 午後7時まで延長保育をした場合の管理責任はどうか。
答 今後7時までの延長保育を実施した場合においても、小学校教員の最終の退勤時間は殆どの日において、午後7時以降であり、警備対応については現状と

変わらないものである。また、学校行事等で教員の退勤時刻がずれた場合は、小学校より借用している警備キーで対応する。

※第20号議案 平成23年度東金市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

問 介護保険システム保守委託料の積算根拠は。
答 住民基本台帳法の改正に伴うシステムの改修作業で主なものとして仮住民票のセットアップ、法施行時のセットアップ、帳票等のプログラム修正、住民基本台帳との連携に係る作業等である。

<建設経済常任委員会> 9月16日開催

※第6号議案東金市外三市町清掃組合と東金市との災害による一般廃棄物処理事務の委託に関する規約の制定に関する協議について
問 市の防災計画に災害ゴミの対応マニュアルはあるのか。
答 阪神淡路大震災を期に国県の指導により平成18年に震災廃棄物処理計画を策定している。
問 清掃組合で受入れられないゴミの種類とその理由は。
答 今回の災害ゴミは総量670トンを見込んでおり、コンクリートや瓦は処理できない。また木屑等は焼却処理は可能だが、清掃組合の通常業務に影響が出てしまい、また国からも極力リサイクルする旨の指導もあるため、再生材としての活用を考えている。

問 浄化センター中継ポンプ場の保守点検業務の委託料の積算方法とそれが適正なものか。
答 国が保守点検業務に関する指針を作成しており、その積算基準を基に予定価格を設定していることから適正と考えている。

※第22号議案「平成23年度東金市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

※第24号議案「平成23年度東金市ガス事業会計補正予算(第1号)について
問 ガス料金の検針・集金業務委託の契約単価の妥当性とこれまでの単価の推移は
答 実績のある2社の見積りを参考に査定しており妥当と考えている。また単価については、平成14年から16年までが3百円台であったが、17年以降2百円台前半の数値で推移している。

◆平成23年第3回定例会表決結果一覧◆

Table with columns for agenda items and council members' votes. Includes a legend for voting symbols (O for approval, X for opposition, etc.) and a summary for the 18th-21st items regarding the Special Committee on Budget Review.

# 市政に関する一般質問

## 地域医療

志政会 広田 幸吉

**問** 医師・看護師確保、国の医療再生プログラム資金の使い方、近隣病院との協力体制構築について、進捗状況を伺いたい。

**答** 医師・看護師確保については、9月下旬に千葉大学医学部教授会のワーキンググループに対し、当医療センター理事長から年度別の要望を行うところまで現在進んでいる。医療再生プログラムの

4億6,500万円については既に確定し、県の9月補正予算で予算化されると聞いている。

近隣病院との協力体制については、当センター理事長が山武郡市医師会に加入し、その中で協議しており、市としては山武地域医療協議会も含めて対応していきたい。

また、24時間体制について、計画の策定に千葉大や現場の先生方が入り体制を整えており、無理はないと考えている。

## 市民への情報伝達の充実を

公明党 佐竹真知子

**問** 6月議会で提案した災害時の情報伝達手段としてのエリアメールの導入についての検討状況を伺う。また災害時でも地上の影響を受けない衛星回線を利用したブロードバンドの導入についてのご意見を伺う。

次に市民の様々な学習ニーズに対し、市の各部署の業務をメニュー化し、職員を講師とした住民への出前講座の体制づくりができないか伺う。

**答** エリアメールについては、NTTドコモが提供している自社独自のシステムであることから、現在もその効果を含め検討中である。また衛星ブロードバンドについては、新たなサービスであり通信体制の構築の参考となることから今後研究していきたい。

## 一般住宅の耐震化の促進を

日本共産党 前田 京子

**問** 東日本大震災を契機に、家の耐震性が気になり始めた人も多いと思う。災害から住民の命を守ることは自治体の責務である。耐震改修工事の費用が心配とためらう住民の背中を後押しするために、耐震改修助成制度の創設とあわせ、地域の職人さんの仕事確保にもつながる、住宅リフォーム助成制度の創設を再度求めるが見解を伺う。

次に市役所や図書館、市民センターなど、市の各部署の業務をメニュー化し、職員を講師とした住民への出前講座の体制づくりができないか伺う。

**答** エリアメールについては、NTTドコモが提供している自社独自のシステムであることから、現在もその効果を含め検討中である。また衛星ブロードバンドについては、新たなサービスであり通信体制の構築の参考となることから今後研究していきたい。

放射線量は、県貸し出し測定器により、ほぼ毎週市内5ヶ所を測定している。0.05から0.1マイクロシーベルトで文科省の示す数値以下である。

## 地域公共交通会議での検討状況は

陵志会 塚瀬 一夫

**問** この7月開催した地域公共交通会議での検討事項を伺う。また来年度施行に向け、この計画が順調に進んでいるのか。

次に東金九十九里地域医療センターの開業が平成26年4月の予定だが、交通会議でのスケジュールでこれに間に合うのか伺う。

**答** 7月の会議では、今後の検討スケジュールとその具体的な方針の確認を行った。また来年3月には計画策定を完了する予定となっており、デマ

## 「新しい公共」への体質変換とは

志政会 伊藤 博幸

**問** 市政運営方針の中に、新たな行財政改革の取り組みとして「新しい公共」の時代へ立ち向かうための行政の体質変換を図る第一歩とする」という言葉があるが、行政の体質変換とは、具体的にどのようなことなのか。

**答** まちづくりの基本は、協働のまちづくりの取り組みと考える。今後は、行政のみならず市民、各種団体、市民ボランティア、NPO法人などの協働により、市民や地域のやりたいこと、行政課

## 震災後の教育施設整備の見直しは

志政会 前嶋 里奈

**問** 本年度、市長は、教育施設の建て替えや耐震補強などの安全・安心、教育への取り組みを最重要施策と位置づけたが、3月の東日本大震災を受けて、市においては何か再検討した点や変更点があるか。

**答** 課題となっている東金中学校の耐震対応は、昨年末に出された東金市学校教育問題検討懇談会からの「早急に設計業務に入るべき」との答申を重く受けとめるとともに、東日本大震災の被害状況を見きわめ、生徒の安全・安心を最優先という



耐震対応の協議が進められている東金中学校

## 原発事故による市内の放射能汚染状況は

社会民主党 水口 剛

**問** 6月議会では、東金市も放射能に汚染はされているが、問題がある数値ではないと市長の答弁があったが、市内における汚染の状況を伺う。

**答** 清掃組合クリーンセンターの焼却灰については、6月28日に採取した焼却灰が590ベクレル、溶融スラグは34ベクレルで、この値は、環境省の埋め立て基準値の8000ベクレル以下

## ヘルメットの着用 推進のため条例策定を

公明党 中丸 悦子

**問** 平成21年の道路交通法改正により児童・幼児のヘルメット着用が努力義務化された。また京都府では、6歳児未満の自転車同乗幼児のヘルメット着用義務化を条例で定めている。

市においても第4次東金市交通安全計画において自転車の安全利用促進の観点から幼児の着用を掲げているが、ヘルメット着用により衝撃が3分の1程度に抑えられるとのデータもあることから、対象を全ての自転車利用者とするべきと思

**答** 道路交法における改正、またそれを受けての京都市の取り組みも先進的な事例として伺っている。市としては、住民の生命あるいは身体安全のために広報などを活用し、まずは啓発活動を行っていきたくと考えており、条例制定は検討課題として

市役所1階ロビーで本会議をご覧いただけます。  
現在、議会で中継放映の試行として、市役所庁舎内に限って議場の中継放映を行っています。  
市役所1階のロビーに設置されたテレビで、本会議の様子をご覧いただくことができます。

健康福祉

忠魂碑の老朽化対策を求める

蒼政会 大野 政廣

問 市内には、各地区に忠魂碑があり、遺族会等で維持管理しているようだが、建立後相当の年月が経過し、今回の地震でも亀裂が入るなど、かなり傷んでいると聞いている。今後、修繕や建て替えが必要な時期を向かえるが、各地区の負担での対応は大変厳しいものがある。そこで、市としての予算措置を考慮されたいか伺う。なお、要望ではあるが、費用的に難しい場合は、市として一つの場所を忠魂碑として位置づけることで管理の負担も少なくなると思われるため検討願う。

答 現在、市内には8カ所の忠魂碑があり、明治時代から第二次世界大戦後の昭和28年頃の建立とされている。その維持管理については、区長会や遺族会支部などが行っていると聞いているが、現在のとこ修繕等の要望・相談は受けていない。今後は、地元遺族会等、忠魂碑を維持管理している方々からの意見を聞きながら協議していきたい。

産業振興

緑花木センターの検討の現状は

蒼政会 今関 正美

問 経営組織の改編協議を進めている緑花木センターについて、現在どのような組織形態を想定しているのか。また進め方が、行政主導的で、センターの存続を願う方々の考え方や姿が見えてこないように感じられるが、今後の見通しや進め方を伺う。

答 緑花木センターの検討は、これまで3年間、「自分達を中心になつてやっつて行こう」という方々が集まり進められてきたが、今年に入り現敷地の地代の値上げ要請を受けたことで、現在検討はストップしている。また本



経営組織の改変と再整備の検討が進められている緑花木センター

産業振興

経済効果の出せる広域農道を

東金市民フォーラム 斉藤 範吉

問 今年度、広域営農団地農道整備事業の計画最終年度を迎えるが、未整備区間もあり、事業目的も不明確に感じる。今後の計画延長にあたっては、産業振興策としての価値を十分精査し、経済効果が出るよう願う。

答 事業の目的は、この地域が水稲、野菜、植木の産地を形成し広域営農団地としてまとまり、土地盤整備が一体的に行われ、農業用水も両総用水がほぼ全域をカバーしていることから、この基幹農道を整備することで京浜京葉地区への農産物流通等が向上し、新鮮農

産物の供給に寄与するといふものである。また経済効果は、道路建設による年間総効果額を7億7千8百万円と見込んでおり、主には輸送効果等、営農の走行経費削減効果で3億4千5百万円、一般交通等経費削減効果で3億1千2百万円となっている。



現在、整備を進めている広域農道

産業振興

有害鳥獣駆除に補助制度を

公明党 布施 栄亮

問 近年、松之郷区や源地区において有害鳥獣であるカラスやイノシシによる農産物被害が増加しているが、その駆除の状況を伺いたい。また今年松之郷区にて試験的に田んぼに「電気柵」を使用したところ、駆除効果が高いことがわかり、設置要望も多い。そこでこの電気柵設置への補助制度の考えについて伺う。

答 有害鳥獣の捕獲にあり、理者による運営を考えている。今後は地権者との協議を進めていきたい。

観光

鴛ヶ嶺の森公園を観光資源に

蒼政会 宮山 博

問 鴛ヶ嶺の森公園の整備については、昨年の議会でも質問をし、基金による整備を予定している旨の答弁があったが、この1年、余り進んでいないように思われる。

内部検討を2回程行ったことだが、八鶴湖や雄蛇ヶ池の整備が進まない中、市の観光資源としてその有用性を認識し、もっとスピード感を持った取り組みを望むが見解を伺う。

答 本公園の整備については、平成13年に基本設計を策定したが、その後の経済状況や市の財政状況、また推進母体となっている「セントラルパーク市民の会」の会員の高齢化等もあり活動量が落ちてきている状況にある。今後、整備検討会議において具体的な検討に入ることを進めており、年内を目途に検討結果を取りまとめたいと考えている。また、今後の工程としては、概ね10年後の姿を想定した計画を策定したいと考えている。

都市整備

時代の変化に対応した公園に

清風会 小倉 治夫

問 現在、市が管理している公園の数とその年間の管理費は。また管理委託の契約方法は入札か、随意契約か伺う。

答 入札で執行している。公園施設は、利用形態や周辺の状況、社会の状況によって使いやすいういに変えていくべきと感じているが、現在、東金中央公園のリニューアル計画の予定はない。但し防犯対策上、園内樹木の選定・伐採を行い、また、見通しの良い公園作りを心がけており、今後時代の変化に合わせた少しずつ変えていきたい。

建設

下水道事業の市内の普及率は

清風会 松戸 進

問 農業用排水路の水質汚濁は、生活排水など家庭から出される排水が原因であり、農業用水を守るためにも、下水道事業は必要である。現在、本市の下水道事業の普及率は何%くらい整備されているか。今後、拡大、拡張する考えはあるのか。また、事業を普及促進しない場合は、他の代替方法、例えば合併浄化槽を考えているのか。

答 公共下水道は、平成22年度末において、行政人口5万9,404人に対して2万4,653人が接続可能で、普及率は41.5%である。下水道の面整備については、浄化センターの老朽化が著しいため、改築更新工事の見通しが立った時点で、認可取得区域などの面整備の着手を考えている。

公共下水道区域及び農業集落排水事業区域以外は、合併処理浄化槽の整備を進めている。

建設

区からの要望への対応状況は

清風会 穴倉 敬文

問 市内の各区から道路・水路等の整備など文書要望が多くあると思うが、過去からの要望件数と、出来なかった件数を伺う。また、要望に対する優先順位はどのように決めるか伺う。

答 平成15年度から22年度の8年間の要望件数は558件あり、この内完了した件数は282件で、達成率は50.5%、未完了件数は276件である。

また要望内容が、側溝・水路の浚渫や草刈等の職員で直接処理できる軽易なものから、道路拡幅工事、地域内浸水被害の解消など多大な工事費や長期間の年月を要する



地区要望で整備された排水路

※紙面の都合上、代表質問、個人質問の一部について要旨を掲載しています。詳細については、図書館・中央公民館及び市役所情報公開コーナーにて「会議録」の閲覧、または、東金市ホームページより会議録検索システムでご覧ください。(11月上旬発刊・掲載予定) 会議録検索のホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/togane/togane.html>

平成 23 年第 3 回 (9 月) 東金市議会定例会に通告された一般質問の項目 (通告順に掲載)

Table with 2 columns: 要旨 (Main Points) and 通告者 (Inquirer). It lists 15 different questions regarding infrastructure, budget, disaster prevention, and education, each with a corresponding name and contact method.

環 境

合併処理浄化槽の普及促進を

陵志会 石田 明

問 今後の公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽の各事業の方針を伺う。またこの3事業公平性の観点から、今後合併処理浄化槽に関する見直しや補助体制についての考えを伺う。
答 公共下水道については、浄化センターの老朽化が著しいため改築更新工事が早急の課題である。面整備については費用の面で難しいため、当面の間、公共下水道の整備を優先してまいります。農業集落排水については、平成21年度に福岡地区の事業が完了したが、新規事業は難しく整備済みの区域内の接続促進に努めたい。今後は、合併処理浄化槽の整備を補助制度の拡充を図りながら推進してまいります。



改築更新工事を進めている浄化センター施設

教 育

学区編成にはどのような課題があるのか

陵志会 石渡 徹男

問 他の自治体では、学区を廃止して自由選択制度を実施しているところもあると聞かれます。実施した場合の問題点がどこにあるのか伺う。また児童・生徒数推移表によると平成28年度には生徒数がピーク時と比べ二千三百六十三人35.7%減少するようだが、統廃合を含めた学区の見直しをする場合の一定基準を伺う。
答 市では、修学区域に関する法律に基づき小学校・中学校それぞれ通学

教育施設

東金中学校の第二次耐震診断をする経緯と認識は

陵志会 清宮 利男

問 東金中学校については、昨年末に東金市学校教育問題検討懇談会から「東金中学校は、現在の位置に生徒数に見合う規模で建てかえ、早急に設計に入るべき」との答申を受けたにもかかわらず、

する学校を保護者及び子ども達に指定している。また自由選択制度については、特定の学校へ児童・生徒が集中した場合に少数となった学校の運営が難しくなることや通学距離が遠い子ども達へのバス対応等の課題が生じることから、現状の方

今定例会に補正予算として新たに同中学校の耐震診断業務委託料が約一千百万円計上されているが、本来であれば文科省の事業認定に必要な第二次耐震診断を答申前に行う必要があったと思うが、その認識について教育委員会と市長に伺う。

答 平成18年度に文科省より「19年以降の事業認定申請には耐震診断を採択の前提とする」旨の方針が示されたことから東金中と源小の第一次耐震診断を行ったものである。建てかえの対象となる構造耐震指標Is値0.3を東金中が大きく下回る0.17で

平成23年度議会報編集委員会 委員長 渡邊 直樹 副委員長 倉本 敬文 委員 前清 利文 野竹 宮嶋 敬文 政真 京利 知子 廣子 子男 奈文

※正・副議長及び議会運営委員長については、運用により一般質問を差し控えることとなっています。